

第1問題 「体づくり運動」について、次の問に答えよ。

問1 次の図1のA～Fが示す運動は、下の①～③のどの運動にあてはまるか。それぞれ記号で答えよ。

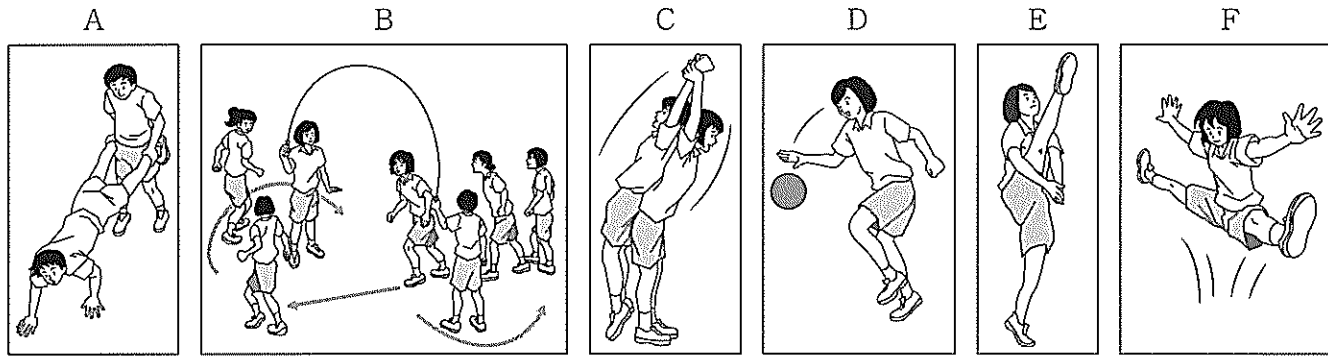


図1

- ① 体の柔らかさを高めるための運動
- ② 巧みな動きを高めるための運動
- ③ 力強い動きを高めるための運動

問2 次の文章は、体ほぐしの運動の意義やねらい（中3・高1）について述べたものである。文中の ～ にあてはまる語句をA～Hから選び、記号で答えよ。

「体ほぐしの運動」とは、生涯にわたり積極的に運動に親しんでいく一つの基盤として、すべての人々が運動の楽しさや を味わうことが大切になるとの考えから生まれたものである。つまり、「体ほぐし運動」では、多彩で な運動やリズムカルな運動を通じて、動くことそのものの楽しさを体験し、心と体が一体となるような運動が求められている。

そのねらいは、以下の二つである。

- ① 心と体は互いに影響し することや心身の状態に気付くこと。
- ② と自主的に関わり合うこと。

- A 運動
- B 手軽
- C 悔しさ
- D 変化
- E 簡単
- F 成長
- G 仲間
- H 心地よさ

第2問題 「器械運動」について、次の問に答えよ。

問1 マット運動における次のA～Gの技について、①接転技群、②ほん転技群、③平均立ち技群、④支持技群、⑤柔軟技群のどれにあてはまるか分類し、それぞれ記号で答えよ。

- A 前後開脚座
- B 側転
- C 倒立
- D 側方倒立回転
- E 首倒立
- F 片足旋回
- G 後転倒立

問2 跳び箱運動において、切り返し系とはどのような技か、説明せよ。また、切り返し系の具体的な技を一つ答えよ。

第3問題 「陸上競技」について、次の問に答えよ。

問1 次の①、②の文は、リレーのルールを説明したものである。文中の□ア～□オにあてはまる語句をA～Jから選び、記号で答えよ。

- ① 第一走者のスタート時のバトンは、スタートラインを越えて地面に□ア。
- ② リレー競技においては、30mの□イの中で次走者はスタートを切り、かつバトンの受け渡しを完了しなければならない。もしバトンを落とした場合、バトンパスが完了していない場合、□ウが拾わなくてはならない。バトンパスの完了後にバトンを落とした場合は□エが拾わなくてはならない。このとき、他の競技者を妨害しなければ、自分のレーンから離れて拾って□オ。

- A 審判員
- B 後走者
- C もよい
- D フロントゾーン
- E はならない
- F ついてはならない
- G テークオーバーゾーン
- H ついてもよい
- I コーチ
- J 前走者

問2 次の図2は、「走り高跳び」の跳び方を示している。①～③の跳び方の名称をそれぞれ答えよ。

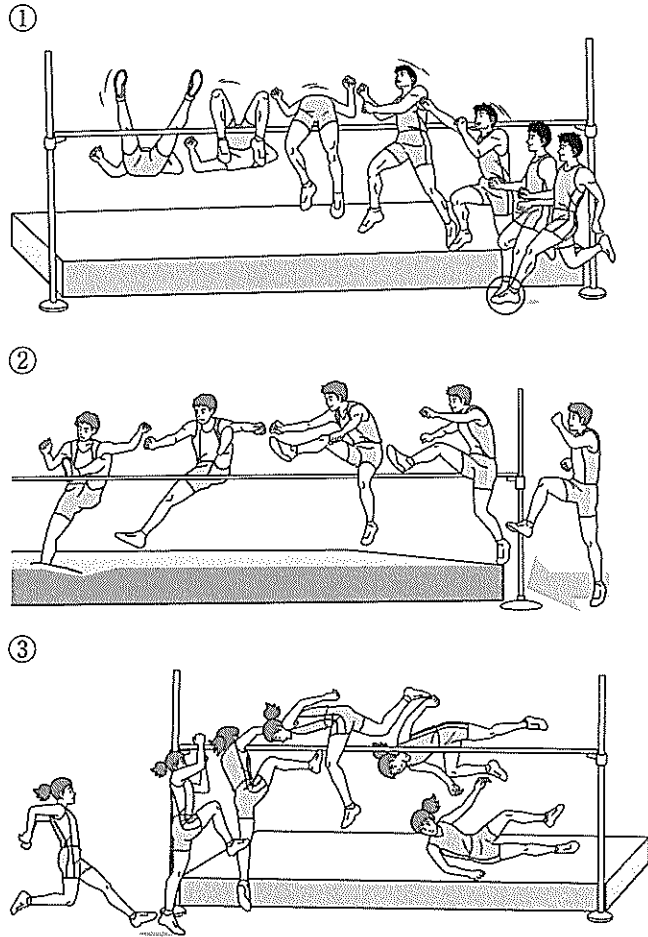


図2

問3 次の図3は、長距離走に向けた走法を示している。この走法の留意点について「腰」「肩」「腕」「ストライド」「上下動」の語句の中から三つの語句を選び、それぞれ説明せよ。

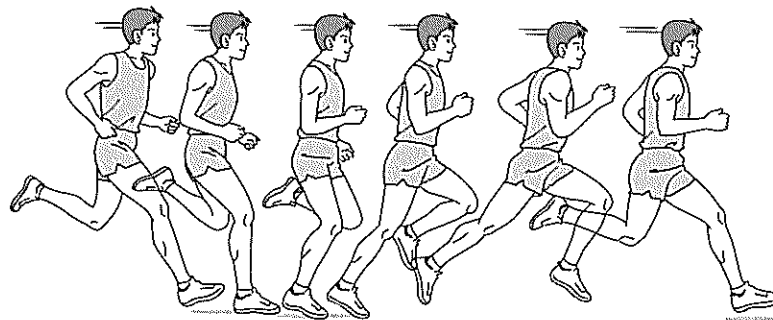


図3

第4問題 「水泳」について、次の問に答えよ。

問1 次の①～④の文は、平泳ぎのストロークの用語を説明したものである。これらの説明について最も適した用語を下のA～Dからそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

- ① 両手を揃えて前方に差し出すように伸ばす。
- ② 手のひらをやや外向きにして左右に開き、肩幅の外側までかいたら、わき下を開くようにして肘を高く構え、手のひらと前腕部で水を後方へかく。
- ③ 手先から足先まで体を一直線にし、両手を水面下約 15cm 程度に置き、顔をやや前方に向けて抵抗の少ない姿勢をとる。
- ④ 両肩を結ぶ線の手前までかいてきたら、手のひらをやや内側に向けて水を抱え込み、あご下までかいて両手を接近させる。

A グライド B プル C フィニッシュ D リカバリー

問2 背泳ぎにつながる「背面浮き」のポイントについて、「耳」「へそ」「水面」の三つの語句を用いて説明せよ。

第5問題 「球技」について、次の問に答えよ。

問1 次の①～⑥の語句はバレーボールの競技用語である。これらの用語について最も適した説明を下のA～Gから選び、記号で答えよ。

- ① オープン攻撃
- ② サイドアウト
- ③ ブロックアウト
- ④ バックアタック
- ⑤ 移動攻撃
- ⑥ ブロックカバー

- A 相手にブロックされ、はね返ってくるボールを受けて再び味方の攻撃に切りかえようとするレシーブ技術のこと。
- B 相手のブロッカーの手にボールをわざと当てて、コートの外にたたき出そうとする攻撃技術のこと。
- C アタッカーがすばやく位置を変えて仕掛ける攻撃のこと。
- D 両サイドのアンテナ近くに高いトスを上げてスパイクする攻撃のこと。
- E ボールが許容空間の外側を通過し、自分のコートに再び返球できないこと。
- F サービス権が相手側に移ること。
- G バックのプレーヤーがアタックラインの後方でジャンプし、相手コートにボールを打ち込むこと。

問2 次の①、②はバレーボールの反則を示す用語である。それぞれどのような反則か、簡潔に説明せよ。

- ① ダブルコンタクト
- ② パッシングザセンターライン

問3 次の図4は、ソフトテニスにおけるラケットの握り方を示している。①、②の握り方の名称をそれぞれ答えよ。

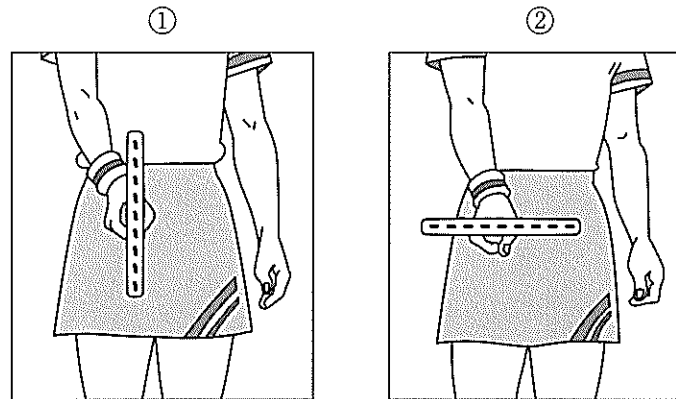


図4

問4 次の文章は、サッカーの競技者の数について述べたものである。文中の「ア」～「ウ」にあてはまる数字を答えよ。

1チームは「ア」名以下のプレーヤーで編成し、いずれかのチームが「イ」名未満の場合、試合は開始も続行もされない。メンバーのうち「ウ」名を必ずゴールキーパーとする。

問5 バスケットボールの戦術として「アウトナンバーをつくる」ということがあるが、「アウトナンバー」とはどのような状況か、説明せよ。

問6 次の図5は、バスケットボールにおけるフリースロー時の選手の並び方について示している。次のA～Cから正しいものを選び、記号で答えよ。なお、○はオフェンス側、●はディフェンス側を表すものとする。

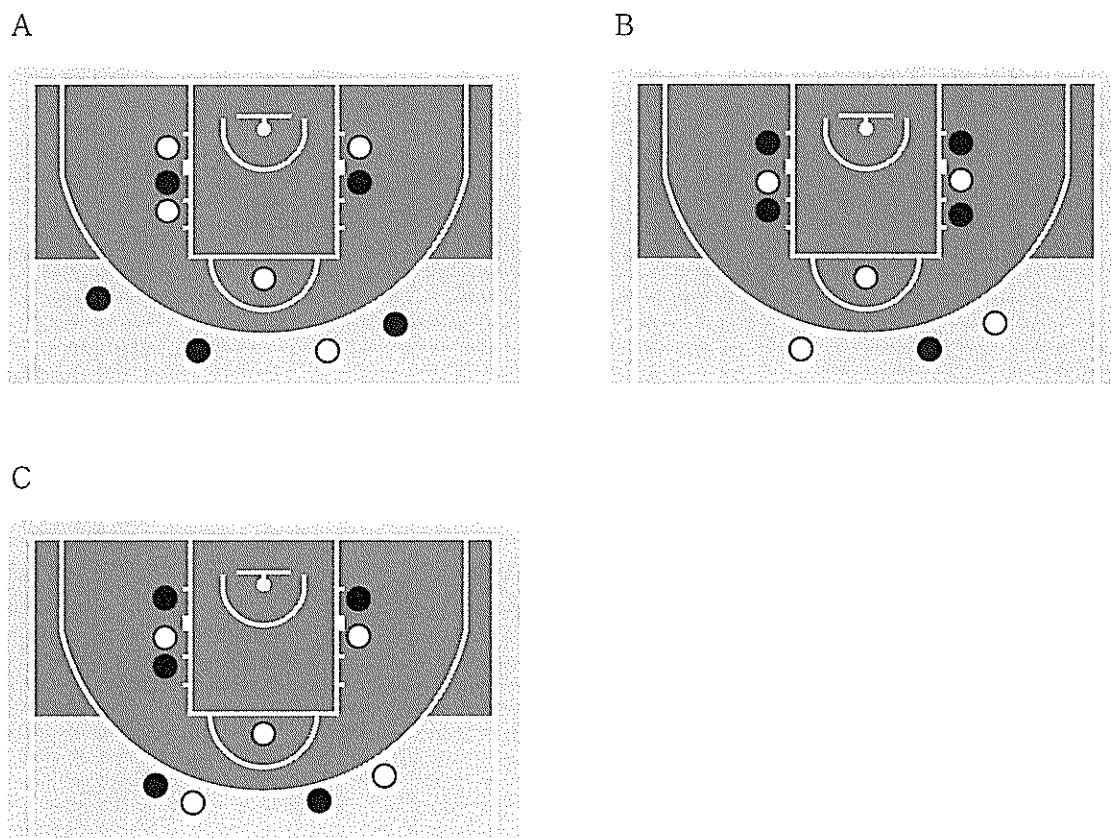


図5

第6問題 「武道」について、次の問に答えよ。

問1 武道は、柔道、剣道、相撲などの種目の違いを問わず、共通の教育的価値をもっている。この武道の共通した教育的価値について、あなたは保健体育科の教員としてどのようなことを授業で大切にしていきたいと考えるか、二つ記せ。

問2 次の①～④の文は、柔道と剣道に関するルールや技の説明である。正しいものを二つ選び、記号で答えよ。

- ① 柔道では、審判が「抑え込み」と宣告してから20秒間、相手を抑え込むと「一本」となる。
- ② 剣道では、相手の胴に対して打突が決まっても、声を出していなければ有効打突にはならない。
- ③ 柔道では、故意に取り組まないことも認められている。
- ④ 剣道では、相手の足を蹴って転ばせることも一本となる。

第7問題 「ダンス」について、次の問に答えよ。

問1 次の図6は、フォークダンスで用いられる組み方（ポジション）を示している。何という組み方（ポジション）か記せ。

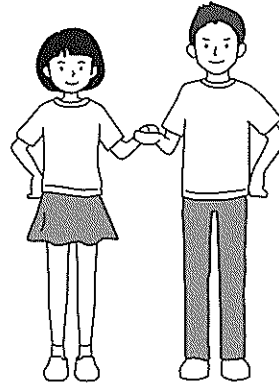


図6

問2 次の①～④の文は、現代的なリズムのダンスについて述べたものである。説明として適切なものを二つ選び、記号で答えよ。

- ① 既存の振り付けを正確に模倣して踊ることに重点を置く。
- ② ロックやヒップホップのビートの特徴を捉えて、体幹部を中心に全身で自由に弾んで踊る。
- ③ 対立する動きや短い動きの繰り返しを組合せ、変化とまとまりを付けて踊る。
- ④ 音楽のテンポには関係なく、自分の感覚だけで自由に踊る。

第8問題 「体育理論」について、次の問に答えよ。

問1 次の文は、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」について述べたものである。文中の「ア」にあてはまる適切な語句を答えよ。

運動やスポーツの合理的な実践を通して、生涯にわたり豊かに運動やスポーツに親しむ資質・能力を育てるとともに健康の保持増進を図るためには、その意義や効果、「ア」、安全に運動やスポーツを行う必要性やその方法について理解できるようにする必要がある。

問2 次の文は、「文化としてのスポーツの意義」について述べたものである。文中の「イ」にあてはまる適切な語句を答えよ。

体づくり運動、ダンスや野外活動などを含む広義のスポーツが、人々の生活や人生を豊かにするかけがえのない文化となっていること、また、そのような文化としてのスポーツが世界中に広まっていることによって、現代生活の中で重要な役割を果たしていることなどの現代スポーツの「イ」について理解できるようにする必要がある。

第9問題 「保健」について、次の問に答えよ。

問1 次の文章は、調和のとれた生活について述べたものである。文中の「ア」にあてはまる適切な語句を答えよ。

私たちの心身の健康のためには、適切な運動、「ア」、休養・睡眠が大切である。生活の中でこれらのうちどれか一つでも不適切になると、心身の健康に影響が及ぶ。例えば、運動で消費されたエネルギーは、「ア」によって補給する必要があるが、そのバランスが崩れると肥満や痩せの原因となる。また、適切な運動や「ア」は睡眠の質を向上させる。十分な休養をとることで、活力ある日常を送ることができる。心身の健康のためには、運動、「ア」、休養・睡眠それぞれの調和のとれた生活が必要である。

問2 次の①～④の文は、ストレスが生じる仕組みやストレスへの対処に関するものである。説明として適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① ストレスによる影響は、ストレスの原因そのものの大きさに決まり、それを受け止める人の心や体の状態は関係ない。
- ② 生活経験が広がる思春期には、ストレスを経験しない方が、心の発達には良い。
- ③ 心の健康を保つためには、いろいろな対処の方法を使い分ける必要がある。
- ④ コミュニケーションの方法は、ストレスの原因や対処方法とは関係が少ない。

問3 次の文は、熱中症への対応について述べたものである。文中の「イ」にあてはまる適切な語句を答えよ。

熱中症を疑う症状が現れたら、速やかに運動などを中止して、涼しいところで休憩する、水分補給を行うなどの対応が必要である。また、意識障害などの重い症状が現れたら、すぐに救急車を要請すると同時に、「イ」などの応急手当を行うことが重要である。

問4 次の文は、性感染症について述べたものである。文中の「ウ」にあてはまる適切な語句を答えよ。

性感染症は、自然に治ることはほとんどない。専門医の治療を受けずに放置していると、尿道や子宮、卵管などに炎症を起こし、「ウ」や子宮外妊娠の原因になることがある。また、性感染症に感染している母親から胎児へ感染し、流産や早産などの原因になることもある。

問5 次の①～④の文は、薬物乱用に関するものである。説明として適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① 医薬品を医療の目的以外に使用しても、薬物乱用にはあたらない。
- ② スポーツにおけるドーピングは、薬物乱用にはあたらない。
- ③ 薬物乱用を繰り返すと、薬物による一時的な作用がなくなったときに、また薬物を使いたいという強い欲求が現れるが、身体的な苦痛はない。
- ④ 乱用されるほとんどの薬物は、直接脳に大きな影響を与える。

問6 次の文は、心肺蘇生法での胸骨圧迫に関するものである。文中の「エ」にあてはまる適切な語句を答えよ。

手の置き方

- ① 片方の「エ」を胸骨の下半分、胸の真ん中に当てる。
- ② もう片方の手を重ねて指を組む。

問7 次の①～④の文は、生活習慣病やその予防に関するものである。説明として適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① 食べる、話すなどの口腔に関わる QOL を低下させる歯周病は生活習慣病の一つである。
- ② 不適切な生活行動を若い年代から続けても、心臓病や脳卒中などになるリスクは高まらない。
- ③ 生活習慣病は大人になってから発症することが多い病気なので、中学生には無関係である。
- ④ 生活習慣病は、初期の段階で自覚できるものが多い。

第1問題

問1	①	C、E (各1点)	②	B、D (各1点)	③	A、F (各1点)		
問2	ア	H (1点)	イ	B (1点)	ウ	D (1点)	エ	G (1点)

第2問題

問1	①	B、G (各1点)	②	D (1点)	③	C、E (各1点)	
	④	F (1点)	⑤	A (1点)			
問2	説明	踏み切りから着手までに前方への左右軸回転をし、着手後は後方に左右軸回転が繰り返され、着地に入る技のこと。					(3点)
	技	開脚跳び、開脚伸身跳び、かかえ込み跳び、屈身跳び (いずれか一つ)					(2点)

第3問題

問1	ア	H (1点)	イ	G (1点)	ウ	J (1点)	エ	B (1点)
	オ	C (1点)						
問2	①	背面跳び (2点)		②	はさみ跳び (2点)			
	③	ベリーロール (2点)						
問3	①	語句	※各々、次の内容が説明されていれば正解とする。					(各3点)
	②	語句	腰：腰が落ちないように。 肩：肩の力を抜く。		ストライド：自分に合ったストライドで。 上下動：上下動を少なくする。			
	③	語句	腕：リズムカルに振る。					

第4問題

問1	①	D (1点)	②	B (1点)	③	A (1点)	④	C (1点)
問2	十分に息を吸い込み、耳までたっぷり水に浸して、へそを水面上に出すつもりで腰を伸ばす。 (3点)							

第5問題

問1	①	D (1点)	②	F (1点)	③	B (1点)	④	G (1点)
	⑤	C (1点)	⑥	A (1点)				
問2	①	一人のプレイヤーが、明らかに連続してボールに触れること。						(2点)
	②	足がセンターラインを完全に越えて相手コートに触れること。						(2点)
問3	①	イースタングリップ、 コンチネンタルグリップ			(2点)	②	ウエスタングリップ (2点)	
問4	ア	11 (2点)	イ	7 (2点)	ウ	1 (2点)		
問5	攻防の局面において、2対1、3対2といったように攻撃側の人数がマークする守備側より数的に上回る状況。 (3点)							
問6	C (1点)							

第6問題

問1	次のア～シに関する記述であれば正解とする。重複する場合は、どちらか一方を正解とする。(各3点、順不同)	
	ア 武道の特性や成り立ちに関すること	イ 伝統的な考え方に関すること
問2	ウ 技の名称や行い方に関すること	エ 運動(武道)に関連して高まる体力に関すること
	オ 試合の行い方に関すること	カ 武道に積極的に取り組むこと
	キ 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること	ク 分担した役割を果たそうとすること
	ケ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする	コ 仲間の学習を援助しようとする
	サ 禁じ技を用いないことを理解して取り組むこと	シ 健康・安全に気を配ること
	①、② (各1点)	

第7問題

問1	オープン・ポジション (2点)
問2	②、③ (各1点)

第8問題

問1	ア	学び方 (2点)
問2	イ	価値 (2点)

第9問題

問1	ア	食事 (2点)
問2	③ (1点)	
問3	イ	体を冷やす (2点)
問4	ウ	不妊症 (2点)
問5	④ (1点)	
問6	エ	手のひらの付け根 (2点)
問7	① (1点)	

氷水に全身を浸ける、ホースで全身に水をかける、などの具体的な記述も可とする。

手のひらの基部、手掌基部 など。「手」、「手のひら」だけでは不正解とする。